

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和4年3月30日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691200275
法人名	株式会社 ケイシン
事業所名	グループホーム こくぶ太陽の家
所在地	鹿児島県霧島市国分中央一丁目24-24 (電話) 0995-48-7320
自己評価作成日	令和4年2月22日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NP0さつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和4年3月19日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・入居者様が安心安全に、毎日をゆったりと過ごして頂ける環境づくりに努めています。
- ・御家族様の不安や負担を軽減し、より良い距離感と信頼関係の橋渡しになれるよう支援に努めています。
- ・最寄りの介護相談所として地域や近隣住民の方々との友好関係を築き、地域の拠り所になれるよう努めています。
- ・GH連合会への加入により、施設だけでなく霧島市全体の介護福祉事業への発展に繋げられるよう、参加協力や支援に努めています。

当ホームは、旧国分市街地にあり同敷地には法人系列の保育所があって、園児や父兄との交流や災害時の避難訓練などで連携が図られていたが現在は活動を自粛している。自治会に加入しているが、現在地域との交流活動は控えており日々の暮らしのなか近隣住民とは野菜の差し入れを頂戴したり、介護の相談などに応じたりしている。また、「まちかど介護相談所」や「こども110番の家」として登録もあり子ども達の緊急避難先としての役割を担い地域に貢献し協力支援に努めている。

理念は、ゆったりと我が家のような暮らし、地域に溶け込みふれあいを大切にすることといったことや利用者の日々の思いを傾聴し大切にすることといったもので、開設当初から職員には大切な介護姿勢として浸透している。また法人の理念、ホームの理念があり、毎日申し送り時に全員で唱和して意思統一を図り業務改善やサービス向上に取り組んでいる。

利用者にとって食事は楽しみの時間であることを十分理解し食事担当の職員が作る家庭的な料理が提供できるよう努めている。職員は、食事形態を工夫したり、好みや希望を聞き取り、誕生会のメニューは普段より特別な料理を提供し、ケーキなども一緒に味わいお祝いしている。地域の方からの野菜などの差し入れもあり献立に活用している。季節ごとの行事食を提供し、そば打ちや餅つきを保育園児と一緒に楽しむなどしている。また、嚥下しやすく誤嚥しないよう刻み食など食事形態を工夫して、食事を楽しむことができるよう支援している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	法人、個々の施設毎にそれぞれに理念を掲げ、毎日唱和する事で職員一同思いを一つに出来るよう努力しています。	法人全体の理念やホームの理念があり、玄関や事務所に掲示され申し送り時に職員全員で唱和している。管理者は、振り返りの機会を設けて理念を共有し、より良いケアに繋がりたいと努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会へ加入し役員会への参加や回覧等の請負、困りごとの解決などを行っています。こども110番へ登録し、近くの小学校の緊急避難場所も担っています。	コロナ感染拡大以前は、自治会の清掃活動や参加があった。現在は地域行事なども自粛している。管理者は、事業所として役割を發揮し介護相談の受け入れや近隣住民との日々の交流を通じて地域と繋がり、野菜などの差し入れもあり相互に協力関係を築いている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	近隣の方からの介護相談は勿論、知人等でもお困りの方がいれば相談頂けるよう普段から伝聞をお願いしております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現在はコロナ禍で書類のみの報告となっていますが、届ける際には直接お伺いし、近隣の高齢世帯の状況など拝聴し、お手伝いが出来る旨をお声がけしております。	管理者は、感染拡大予防のため会議は書面にて実施しているが、市職員からのアドバイスや助言を参考にしてサービスに活かしたり、会議メンバーからは意見を出してもらえるよう情報提供している。これまでは、家族会を同時に開催し事業所の取り組みを報告してより良いケアに向け話し合っていた。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議の報告やコロナ禍での対応や情報提供などメールや電話を通じて日々やり取りをしております。	市職員とは、電話やメールでの連絡や相談などが日常的にあり、アンケートによる実態調査に答えている。福祉事務所職員との連携があり、制度利用についても関係機関と連携し協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	月1回のミーティングの中で身体拘束の有無に関して話し合いを設けています。法人内でも身体拘束に関しての対策の部署を設け、管理者会議や部門会議などで進捗状況の話し合いを行っています。	毎月法人の管理者会議では、身体拘束適正化や虐待防止などについて法人の方針を共有し話し合っているが、ホームのミーティングでは利用者の具体的なケアについて検証し、安全に配慮し転倒予防するなど常に話し合っている。また、定期的な研修を実施して知識や技術を研鑽している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員が互いの振る舞いや言葉遣いを注意し合える環境作りに努めています。隔日の入浴時に身体チェックを行い、小さな跡でも申し送り等で原因究明し、未然に防止できるよう努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	後見人の方々への情報提供は惜しまず、必要だと感じた際は手続きを検討いただいたりと支援を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書等は1項目ずつ読み上げながら、疑義が生じた際は直ぐに連絡いただくよう入居時に説明しています。改定時にはお手紙や電話連絡にて丁寧に説明が出来るよう努めています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	遠方の方でも毎月のお手紙や電話連絡にて現状報告を行い、不安を払拭出来るよう努めています。要望なども随時受付を行っている旨をお手紙や連絡時にお伝えしています。	感染対策を徹底し、家族には窓越しにて面会をお願いしているが、電話や手紙、写真をアルバムにするなどして利用者の状況を伝え、面談の際に事業所の取り組みについて説明し意見や要望などを聞き取るよう努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	業務内で出された意見は可能な物から順次改善を行うよう努めています。即時対応や判断が難しい物はミーティングや管理者会議にて開示し、迅速な繁栄が行えるよう努めています。	長年勤務する職員も多くシルバー人材派遣を活用したり、勤務体系を整備し、職員の育成・資格取得の推進、働きやすい職場環境づくりに繋げるよう取り組んでいる。日々の申し送り、毎月のミーティングなどで情報を共有し業務改善やサービスの向上に向けて話し合っている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の生活環境にも配慮し、可能な限り勤務の調整を行っています。勤務年数制やキャリアパス制度を登用し、職員の意欲向上に繋げています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内での研修の紹介や、各自で希望する研修も積極的に募っています。研修の際は職場全体で時間確保が出来るよう、勤務の調整を行っています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>現在は厳しいですが、連合会開催のイベントなどに職員も参加したりと、交流が出来る土台作りに努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前の御本人や御家族様への面談で、生活歴や環境、趣味等細かな情報収集を行い、要望に近づけるよう努力しています。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>双方の要望や不安を聞き、負担にならない関係の構築に努めています。面会等が少ない場合には電話連絡にて来所いただき、その際に御家族様の現状の聞き取りなども行っています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入居前の段階から御本人と御家族様に現状と施設での生活目標を確認し、入居後も安心してサービスが受けられているかを確認、都度報告を行っています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>洗濯物たたみやお膳拭き、野菜の下拵えなど残存機能を活用いただき、自室の管理等も一方的にならないよう職員と話し合いながら快適に過ごせるよう見守りしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月の手紙の中での報告に加え、誕生日や母の日など関連のイベントが近づいている際は面会や電話連絡などをしていただけるようお伝えしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	自宅や墓参り、馴染みの美容室など、希望された際には御家族様やお店の方とも連絡を取り、御本人に喜んでいただける状況の設営にも努めています。	入居前の生活歴などを参考にして、馴染みの関係が途切れることがないように支援している。携帯電話で家族と連絡を取り合う方や毎週面会に来られるご家族があり、利用者や家族の絆が途切れることがないように配慮している。墓参りは家族に依頼し、ヘアカットは職員が付き添い支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	定期的に席の配置などを替え、極力偏りが出ないように努めています。利用者様同士で協力して参加出来るレクの実施にも努めています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	次の受け入れ先でも生活が滞らないように、関係者や御家族様へのフォローや相談に対応を惜しまないよう努力しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	居室や入浴時など本人の思いが一番出やすい状況での記録を残し、職員間での把握や思いの共有の参考に出来るようミーティングや通常業務内でも話し合いながら検討しています。	入居前の生活歴や家族の意見などを参考にしたり、日常生活やレク活動などを見て本人の思いや希望などを把握し、ミーティングやカンファレンスなどで話し合い本人が主体的に取り組めるよう支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	職員との会話や利用者様同士でのお話などにも耳を傾け、ミーティングで趣味嗜好の情報共有を行うよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の過ごし方を記録に残し、情報の共有に努めています。残存機能を楽しく活用出来るよう、各個人に合わせたレクや機能訓練を実施しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	御本人が話し易い雰囲気や環境での聞き取りに配慮しています。御家族様には現状の変化は逐一報告し、思いや要望の変化を確認しています。主治医からは生活をする上での注意や指示をいただき、それらを集約してプランへ反映させています。	アセスメント結果や定期的なモニタリングを参考にして家族に説明しているが、家族にはできるだけ来訪してもらい話し合っている。遠方の方には、郵送して説明し意見を聞くように努めている。医療ニーズの高い方は、主治医や関係者の専門的な意見聴取、アドバイスを介護計画に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	その日の御本人の状況や行動、対応した内容などは介護支援記録表へ記録し、特変や特記事項などは緊急時にもすぐに確認出来るよう日誌へ記載するよう記録を分けて活用しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	毎月の手紙での報告や、定期受診以外での受診があった際には電話にて連絡させていただいています。利用者様毎に担当の職員を割り振り、各個人での柔軟な対応にも努めています。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	施設での行事の他にも、個人での外出の要望があれば日程を調整し可能な限り叶えられるよう努めています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	御本人の希望に沿いながら、対応が出来ない等やむを得ない場合のみ紹介をいただいて受診先の変更を行っている。変更がある際は御家族様へも理由を説明し了承いただいています。	本人、家族が希望するかかりつけ医となっており、基本外来受診であるが、感染症の時期でもあり職員が受診対応している。歯科や皮膚科は、訪問診療にて適切な医療が受けられるよう取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>身体の異常が確認された際は管理者、看護職員双方へ報告するようにしています。受診時も管理者か看護職員が極力対応するように、日々勤務の調整を行っています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入退院時は看護サマリーを用い必要な情報交換が出来るよう連絡先の交換しています。期間中は各相談員や担当の方と密に連絡を行い状態を把握、職員への情報共有にも努めています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>病院側から説明のある場合には御家族様に同行させていただき、協力して支援が出来るよう努めています。長期入院により退居となった場合でも、御家族様への支援は惜しまず入院生活のケアを共に支えていけるよう継続して支援を行っています。</p>	<p>契約時に重要事項説明書にて、事業所の方針について説明をしているが、現時点では看取りができる体制がないため重度化した場合、早い段階から利用者、家族の思いや希望などを聞き取り段階に応じて意思確認をおこない、納得のいく治療を受け最期が迎えられるようチームケアにて取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>消防訓練や救急蘇生の勉強会などを行い、発生時に必要な知識の習得に努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年二回の消防訓練と隣接施設との合同訓練、消防設備の点検等実施している。自治会内でも双方緊急時には支援が行えるようお声がけさせていただいています。</p>	<p>数年前、近所の火災を経験しその後、近隣の方々と具体的な協力方法について話し合うなど地域の協力体制がある。消防署へ連絡し自主訓練を実施している。業者による防災設備点検、1週間分の食料備蓄もあり、今後自家発電を備えたいと検討している。隣家の保育園と合同の避難訓練も実施している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉遣いや言葉選びに職員で注意し合えるよう気をつけています。利用者様の気分や雰囲気に合わせてながら、堅苦しさが出過ぎないように鹿児島弁も用いての会話を心掛けています。	本人の人格を否めるような言動にならないよう注意しながらケアに取り組むようにしている。本人に合わせた言葉使いであるが、失礼のないよう配慮し丁寧に語り掛け理解しやすいよう言葉を選んで伝えるよう心掛けています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自立動作に関して過剰な手助けにならないよう、極力御本人からの要請が出るまでは見守るよう心掛けています。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	御本人のその日の体調や気分に合わせて寄り添い、強制や誘導にならないお声がけに努めています。好き嫌いが把握できた際には記録に残し、申し送り等でも情報共有を行っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	毎日の衣服に偏りが出ないように、気分を損なわないように配慮し提案しています。希望があれば美容室や買い物の支援も行っていきます。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	出来る限り制限に係らない範囲で、職員と同じ食事の提供を行っています。誤嚥に注意しながら、御本人のペースで召し上がれるよう、食事中のお声がけは極力控えています。	調理担当者が食材などを確認して献立を作っており地域の方から野菜などの差し入れも頂いている。嗜好を確認し食事形態を工夫し、食事介助の方もおられ職員と一緒に食卓を囲んでいる。誕生日は普段に少し手を加えて提供しケーキでお祝いする。また、季節の行事食も楽しんでもらっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事や水分量を記録に残し、毎月初めには定期的な体重測定をしています。水分が進まない方には医師に相談し栄養に注意しながら、好みに配慮した水分の提供も行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアをお声がけし、自立動作の困難な方は介助にて行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定期的な時間ごとのトイレ誘導にてパンツやオムツ内での失禁を未然に防いでいます。普段と様子が違うなどの日常からの変化にも気を配り、失禁前に一早く誘導が出来るよう心掛けています。	布下着の方、リハビリパンツ、おむつ使用の方がおられ、排泄の失敗やおむつの使用量が増えないようおむつの種類を検討したりして排泄の自立支援をおこなっている。夜間のポータブルトイレ活用により転倒なく排泄ができるよう支援したり、食事の工夫や運動を取り入れ排便習慣が整えられるよう取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表を用い、毎朝の申し送り時に状態把握に努めています。乳製品や芋類を用いて出来る限り自然排便を促していますが、排便見られない場合は看護師に相談の元、坐薬等で調整しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週3回隔日に入浴を実施しているが、体調や気分を御本人に伺い予定をずらすなど対応しています。希望があればお一人でも午後からの入浴が可能で、いつでも対応は可能です。	浴槽には手すりを設置してあり希望に応じて浴槽に浸かり入浴できるよう支援している。体調を考慮し足浴を提供している方もあるが、本人の希望や必要性に応じて入浴ができるよう努めている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	気分が優れない時は朝の起床を遅らせたり、昼夜逆転に配慮して午後入床が長くなり過ぎない程度にお声がけしたりと対策しています。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師管理の元、個々の服薬状況をファイリングしいつでも確認が出来るようにしています。服薬に不安がある方は主治医や薬局へ相談し、形状や用量を変える等対応しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯干しや洗濯たたみ、お膳拭きなど積極的にお手伝いしています。出来る範囲でのお手伝いをお願いし、自身の喪失にならないよう支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	現状厳しくはありますが、御本人、御家族の希望があれば日程を相談しながら外出が出来るよう支援しています。事前に行きたい場所などを選定し、御本人の体への負担や事故にならないよう、無理のない計画を一緒に考えています。	外出は、天候や時間帯を考慮して近隣の神社や地域に散歩に出かけたり、少人数にてドライブに出かけ車窓から季節を感じたりして気分転換を図っている。職員は、本人の自主性に任せ日常の継続を支援し、家事活動に参加ができるよう声かけし本人がしたいこと、できることを無理のない範囲で手伝いをもらうように努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	御家族様からお預かりしているお小遣いは施設にて保管しています。御本人持参の財布などに関しては、不定期ではありますが中の金額を確認し、手紙の中で報告しております。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	希望があれば電話機は時間問わず貸出行っています。お手紙も書かれる方は便箋等各自で管理いただいております。こちらでお預かりして郵送するよう伝えていきます。		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	利用者様同士の相性もありますので、トラブルにならないように毎日の会話などにも配慮して席の変更を行っています。天気や季節感が分かり易いように全体的に正面の大窓に向かい、いつでも外の状態に目が届くようは配慮しています。	玄関扉の横に季節の生花が活けてあり、玄関からリビングルームが一望できる空間である。季節を感じられるよう装飾が施され、ソファでテレビ観賞したりくつろげるよう配置がされ、壁には利用者の写真、共同制作の切り絵が掲示されている。十分な採光があり清潔で落ち着ける空間で、長年ともに暮らす猫もいて、穏やかな空気感が漂っている。	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	テレビ前にソファを置き、一人でも寛げるスペースを確保しています。気分が優れない等で他者との会話が困難な際はテレビ前まで誘導し、他の方の行動があまり視界に入らないよう配慮しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>御本人と相談しながら飾る物や配置を決めています。御家族様にも不定期ですが、お孫さんの写真等いただけるよう連絡してお願いしております。</p>	<p>使い慣れた物を持ち込んでいただくようお願いするとともに家族に相談しながら居心地よく過ごせるよう工夫をしている。備え付けのクローゼットには、布団や毛布などの寝具やおむつ類などの収納に活用されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>車椅子の方が半数以上の為、移動の際に歩行者の妨げにならないよ空間に配慮しています。トイレなどは目印をつけて、利用者が迷わないように自立して行動し易い環境づくりに努めています。</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない